

事業所番号	2397100062
事業所名	グループホーム じねん

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	地域の方との交流については、職員が自治会の役員でもあることもあり、地域の祭りに参加する機会をつくる等、徐々に地域の方との関係が深まっている。また、毎月の喫茶の取り組みを継続しており、地域の方にホームを知ってもらい機会をつくっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	会議の際には、利用者一人ひとりの健康状態や活動状況をまとめた資料を用意することで、出席者にホームへの理解を深めてもらう取り組みが行われている。また、今年度よりデイサービスについても会議を行うことになったこともあり、市内の他のデイサービスの方が参加する協力も得られている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	市内の介護事業所が集まる連絡会等の際にはホームからも出席しており、情報交換等の機会につなげている。また、市内の他のグループホームの運営推進会議に出席したり、交流会に参加する機会をつくる等、関係機関との交流にも取り組んでいる。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	ホームの行事の際には、家族にも案内を行っている他にも、利用料を現金での支払いに協力してもらうことで、定期的な意見交換の機会につなげている。また、請求書の送付に合わせて手紙を添えることもあり、家族への情報提供も行われている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	×	○	○	○	○			